

第2期

貸借対照表

(令和5年3月31日現在)

株式会社ガスバル近畿

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流動資産	815,907	流動負債	774,872
現金及び預金	335,720	買掛金	205,917
売掛金	426,314	リース債務	20,099
未収入金及び未収収益	2,694	未払金及び未払費用	314,361
製商品及び仕掛品	29,809	未払法人税等	136,373
原材料及び貯蔵品	15,059	預り金	7,613
その他	6,308	賞与引当金	85,383
		株式給付引当金	5,124
固定資産	2,087,920	固定負債	388,355
有形固定資産	1,910,979	リース債務	20,599
建物及び構築物	1,844,776	株式給付引当金	10,547
工具器具備品	3,806	リース解約引当金	13,013
リース資産	41,518	資産除去債務	344,194
建設仮勘定	20,877		
投資その他の資産	176,941	負 債 合 計	1,163,227
長期前払費用	8,090	(純 資 産 の 部)	
前払年金費用	15,700	株主資本	1,740,600
差入保証金	13,077	資本金	110,000
繰延税金資産	140,072	利益剰余金	1,630,600
		利益準備金	22,880
		その他利益剰余金	1,607,720
		繰越利益剰余金	1,607,720
		純 資 産 合 計	1,740,600
資 産 合 計	2,903,827	負 債 ・ 純 資 産 合 計	2,903,827

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

① たな卸資産の評価基準及び評価方法

商品	最終仕入原価法による低価法
仕掛品	個別法による原価法
貯蔵品	個別法による原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

(リース資産を除く)

定率法

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く）並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は次のとおりです。

建物附属設備	8～15年
工具器具備品	6～20年

② リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

(3) 引当金の計上基準

① 賞与引当金

従業員の賞与の支給に充当するため、支給見込額を計上しております。

② 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務（及び年金資産）の見込額に基づき計上しております。

数理計算上の差異は、各事業年度における発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（8年）による定率法により按分した額を、発生した事業年度から損益処理しております。

③ 株式給付引当金

株式給付規定に基づく従業員に対する親会社（大東建託株式会社）株式の給付に備えるため、給付見込額のうち当事業年度に負担すべき額を計上しております。

④ リース解約引当金

NCU端末回線のFOMAサービス終了に伴い発生するリース解約金に備えるため、更改計画に基づき2026年4月1日以降の未経過リース料相当額を計上しております。

(4) 収益及び費用の計上基準

① ガス事業売上高

検針基準

② 完成工事高及び完成工事原価

工事完成基準

(5) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

① 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

② 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

2. 当期純損益金額

当期純利益 633,005千円